

1 【どんな時でも】

どんな時でも私は賛美を決して やめることない
それはあなたが私を愛していること知ってるから
どんな場所でも私は賛美を決してやめることない
それはあなたが私と一緒にいて守っているから

今もあなたが いちばん必要
すべてを満たしてくれるお方
恵みにこたえ 目を上げ歌う
賛美をやめることはない いつもいつまでも

賛美は永遠に 賛美は永遠に
賛美は永遠に あなたに

主の足元に

主のあしもとに 身をかがめて
ひれ伏し礼拝 ささげます
香油を注ぎ 涙の髪で
拭う 愛する 主の御足を
※
心砕き 栄光 脱ぎ捨て ただあなたを 求めます
あなたの御顔 慕い求めます 賛美 捧げます

求めて

D D/F# G A D D/F# G A
あなたの 声を求めて あなたの 顔 求めて
Em D/F# G D/F# Em A D
あなたの 心 求めて みまえに出る

D/F# G A A/G D/F# G A
すべてをゆだねて すべてをささげて
Bm Bm/G# GM7 D/F# Em A D
あなたを 求めて 礼拝します

主よ主よ

1. 主よ主よ主よ 主よ主よ主よ
2. 感謝します主よ 感謝します主よ
3. 癒して下さい主よ 癒して下さい主よ

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

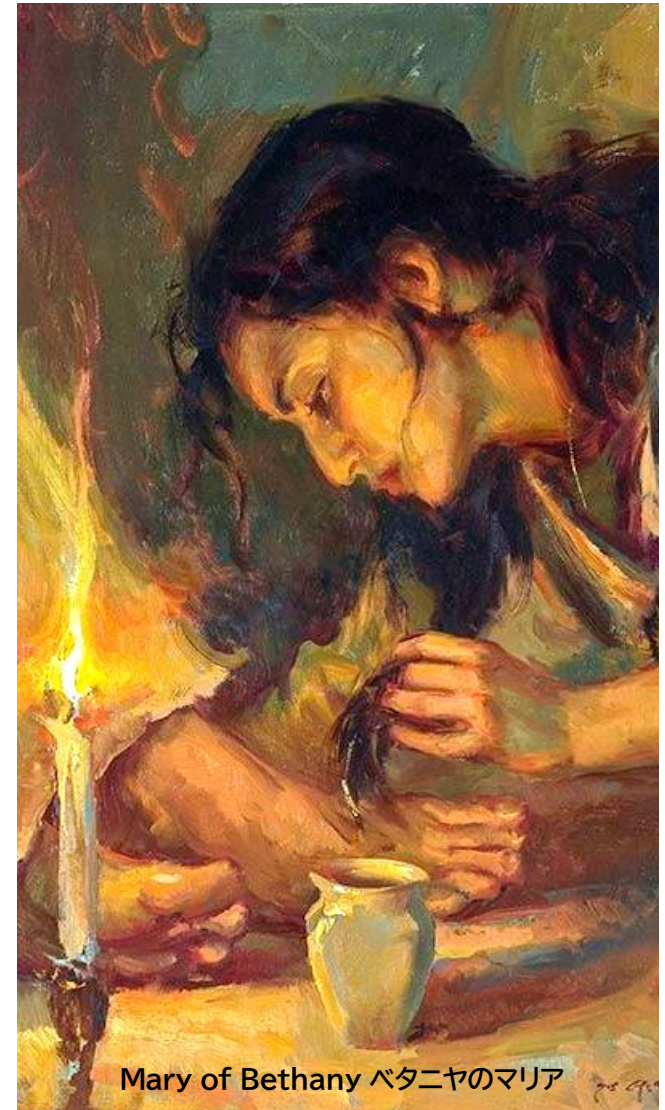
- ウクライナとロシアの戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。
- 能登半島地震の被災者の皆様のため

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはリバイバルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様がご一緒ですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



Mary of Bethany ベタニヤのマリア

祈りの小径(こみち)

Number: 193 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書10章38～42節

38 一同が旅を続けているうちに、イエスがある村へはいられた。するとマルタという名の女がイエスを家に迎え入れた。39 この女にマリヤという妹がいたが、主の足もとにすわって、御言に聞き入っていた。40 ところが、マルタは接待のことで忙がしくて心をとりにみだし、イエスのところにきて言った、「主よ、妹がわたしだけに接待をさせているのを、なんともお思いになりませんか。わたしの手伝いをするように妹におっしゃってください」。

41 主は答えて言われた、「マルタよ、マルタよ、あなたは多くのことに心を配って思いわずらっている。42 しかし、無くてならぬものは多くはない。いや、一つだけである。マリヤはその良い方を選んだのだ。そしてそれは、彼女から取り去ってはならないものである」。

ヨハネによる福音書12章1～3節

1 過越の祭の六日まえに、イエスはベタニヤに行かれた。そこは、イエスが死人の中からよみがえらせたラザロのいた所である。2 イエスのためにそこで夕食の用意がされ、マルタは給仕をしていた。イエスと一緒に食卓についていた者のうちに、ラザロも加わっていた。3 その時、マリヤは高価で純粋なナルドの香油一斤を持ってきて、イエスの足にぬり、自分の髪の毛でそれをふいた。すると、香油のかおりが家にいっぱいになった。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)



「我、包帯す、神、癒したもう」

アンブロワーズ・パレ(1510-1590)

近代外科の父

4

みことばの解説(コラム)

**One thing only is essential,
and Mary has chosen it—Luke10:42**

一つのことだけが絶対的に必要不可欠です！
マリヤはそれを選びました。(MSG)

1/28(日)の礼拝メッセージでお話しました。ベタニヤを訪れたイエス様。接待のことで心を取り乱していたマルタに、イエス様が語られた言葉は、私たちの信仰生活において「絶対的に必要不可欠」なことを教えてくれています。それは、

1. 主の足元に座ること (At Your Feet)
2. み言葉に聴き入ること



この2つを合わせて＝礼拝(ワーシップ)というお話でした。教会は、楽しく、居心地よく、愛に溢れた場所ですが、たとえそうでなくても、礼拝するところであることが、ほかと同列に置けないほど重要なことです。ということを中心に留めて、主の足元 (At Your Feet) に行くことを、毎日の中心にしたいと心から願い祈ります。

マリヤはどうして「それを選ぶこと」ができたのでしょうか？その理由は、ヨハネ12章で、彼女がイエス様に香油を注いだ理由にもつながる大切な内容です。私がイエス様から頂いた答えは…

マリヤは、すでにイエス様の言葉に聞き入っていた！のです。別の言い方をすれば、イエス様がどのようなシーズンを過ごしておられ、なにがイエス様をお喜ばせるかをすでに聞いて、わきまえていた。ですから、主の足元にゆくのは「いま始める」ことなのです。

牧師 倉知契